

令和4年度 伊敷台中学校ブロック 小中連携研修会 まとめ

令和4年度担当校 伊敷台小学校

1 目的

全教育活動を通して小学校と中学校が連携を深め、共通理解・共通実践をする中で、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康・体力」などの「生きる力」の育成を図る。

特に、9年間の学びの連続性を追求することを通して、学習指導方法の工夫や改善を行い、基礎学力の定着を図るとともに、中1ギャップの解消やいじめ・不登校の課題解決のため、一人一人の児童生徒のよさを認め、どの児童生徒も存在感・充実感のもてる学校・学級づくりに努める。

2 日程 令和4年6月13日(月)

※ 感染症対策のため、本年度は紙面（各学校）での実施

3 内容

- (1) 学習指導（学習のきまり，外国語活動・英語科）
 - 小中の連続性を考慮した効果的な指導の在り方
 - ① 学習のきまり
 - ・ 学習用具，始業前の準備，あいさつ，姿勢，発表話形，聞き方・話し方 等
 - ・ 児童生徒がきまりのよさや価値を理解し，主体的に守る指導の在り方 等
 - ② 小中が連携した具体的な取り組みの検討…共通実践事項の共通理解 等
- (2) 生活指導
 - 小中での継続した積極的な生徒指導の在り方
 - ① 学校でのきまりの確認と共通理解
 - ② 不登校傾向の児童生徒に対する理解
 - ③ いじめ，安全指導に関する共通理解 等
- (3) 特別支援教育
 - 特別支援教育における支援体制と支援方法
- (4) 新中学1年生
 - 新中学1年生の生徒の実態把握と教育相談
 - ※ 今年度はオンライン会議（Microsoft teams）で実施
- (5) 人権同和教育部会
 - 人権同和教育の視点に立った小中連携の在り方について
 - 一人一人の学びを保障するための具体的な取組
 - ※ 今年度はオンライン会議（Microsoft teams）で実施
- (6) 養護教諭部会
 - 一人一人の子どもと向き合う保健室の在り方

4 伊敷台中校区の共通実践事項と本年度の反省（2月末に各校でアンケートを実施 ○成果，●課題）

<学業指導の共通実践事項> ・立腰・姿勢を正しくする。 ・話し合い活動の仕方・話し合い活動の雰囲気づくりの工夫	<生活指導の共通実践事項> ・立ち止まってのあいさつ ・服装を整える ・はきものをそろえる ・無言で集合・清掃
○ 座席を工夫して，話し合いがしやすいように工夫した。 ○ コロナ禍ということもあり，十分に話し合い活動に取り組むことができなかったが，短時間で話し合いをして，さらに全体で練り上げるなど工夫しながら取り組んだ。 ○ 発表話型等の工夫を行い，集中する雰囲気づくりに努めた。 ○ 能力差が開く教科の授業で，力が均等になるように意図的にグループを作り，教え合いがスムーズにできるようにした。グループは単元ごとに変えた。 ● 仲が良いのは良いが，すぐただのおしゃべりになるので雰囲気づくりをもっと工夫していきたい。 ● 話す人を見て，最後まで話を聞くことができない子どもがいる。 ● 姿勢が悪い子どもがいる。「びた・ぴん・ぐう」の合言葉をもっと浸透させていきたい（授業開始，終了時のあいさつで実践するなど） ● 無気力な生徒ばかり注意していると授業が中断されるので，何も言わないこともある。	○ 先手挨拶や立ち止まって挨拶することを意識できるようになり，行動に表れている。 ○ 服装はできていないときに呼び止めて指導していると，次に会う時にはすぐ直せる。あいさつもそんなふうに取り組んでいけばよくなっていくのでは。 ○ 生活委員会の取り組みとして，生活指導の共通実践事項五項目について，各クラスで毎週末振り返らせ，集計を行っている。この取り組みにより，子どもたち自身に意識させるようにしていきたい。 ● あいさつをしっかりできる子と，そうではない子のはっきりしている。子どもたちの発達段階に応じてその都度話をしたが，個人差が大きく，そろえるのは難しかった。 ● 履物を揃える（特にトイレのスリッパ）意識が低く，引き続き指導が必要。 ● 集合時に近くの子たちと話してしまい，聞く態度になるまで時間がかかる為，引き続き指導が必要。